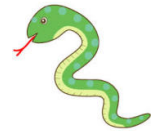


マムシに咬まれてしまったら・・・？

阿南病院では夏を中心に年間数人の方がマムシに咬まれて外来を受診されます。全国的にも毎年 3000 人程度発生し、高度な全身管理を行なったにもかかわらずその内の数名が亡くなられるという恐ろしい病気です。主な死亡要因は、急速に進行する重度の腎不全とそれにより引き起こされる多臓器不全であるとされています。万が一マムシに咬まれた場合には自宅で様子を見るのではなく、必ず速やかに病院へ受診してください。その際には以下に示すような、病院到着前の正しい処置を行ってきていただくと重症化を防ぐ効果があると知られています。



A.傷口より体の中心に近い部分で縛る

これは古くから知られている方法ですが、1つ重大な注意点があります。それは「静脈の血の流れだけを止める強さで縛る」ということです。動脈からの血の流れまで止めてしまえば逆効果です。病院で採血をする際に行うゴムでの圧迫程度を基準としてください。また、正しい加減であっても長時間縛っておくことは有害となりえますので、受診に1時間以上かかる場合は事前にその旨を病院へ伝えてください。

B.咬まれた手や足は心臓より低い位置に保つ

できる限りマムシ毒を全身に回らせないため、咬まれた部位は下におろしてください。

C.傷口からのマムシ毒の吸引

吸引が有効か否かは医師の中でも意見の別れる点ですが、口での吸引を試みていただくことは価値の有ることと思われまます。マムシ毒を口で吸引することに抵抗がある方もおられると思いますが、マムシ毒は口の中や食道からはほぼ吸収されず、胃に到達した時点で分解されるため安全性は高いと考えられています。

繰り返しにはなりますが、マムシに咬まれた際には決して侮らず、以上のような処置を行い可能な限り速やかに病院に受診してください。

和みの医療センター 長野県立阿南病院

☎ 22-2121

内科医長 峰村仁志医

【お願い】 病院を受診する際は、お薬手帳をお持ちください。

●お薬手帳は薬の情報を知る・正しく伝えるための大切な手帳です。

●お薬手帳をお持ちでない方は、病院職員にお声掛けください。

